

瀬戸山定さん

1926(大正15)年4月15日生まれ

当時の本籍地 宮崎県

陸軍 航空兵(通信)

陸軍少年飛行兵(14期生)

航空総軍司令部通信班

最終階級 伍長

内地



●1942(昭和17)年4月1日 陸軍少年飛行兵に志願し(第14期生)、東京陸軍航空学校入校
99%が操縦を目指しているが、通信、整備と3分の1ずつ行かなければいけない。
反射神経が非常に鋭く、通信兵への適性が極めて高いので通信へ行けと言われ、大変がっかりする。

●1943(昭和18)年4月 陸軍航空通信学校入学
送信は苦手だったが、受信は得意で自信があった

●1944(昭和19)年7月20日 戦局が逼迫しているのでと繰り上げ卒業
各任地が発表されたが8~9人だけ呼ばれない。後で教育隊長に呼ばれ、学校に残って助教をやれと言われた。外地に行って活躍しようと思っていたのになんでこんなに運が悪いのかと思う。
10月、バシー海峡で、魚雷攻撃により同期生71名が亡くなる。11月になりその噂が聞こえてきて、16期生はしっかり育てないと、それまでふてくされていたが本腰を入れて教育に当たった。

●1945(昭和20)年4月1日 航空総軍司令部通信班に転属
5月25日、29日と四谷に大爆撃があり、兵舎は三宅坂にあったので罹災者となってしまふ。

全部が焼け野原で国会議事堂がはっきりと見えた。

6月1日 大阪の八尾に兵舎が移る

●1945(昭和20)年8月15日 敗戦

●1945(昭和20)年9月2日 復員

結婚していた一番上の姉を頼ったが、8月27日の枕崎台風で、崖の上の松の木が家の上に倒れ、姉と姪の一人が死亡。父と、満州から引き揚げた兄夫婦と裸一貫からの生活が始まる。



取材日:2014年5月4日